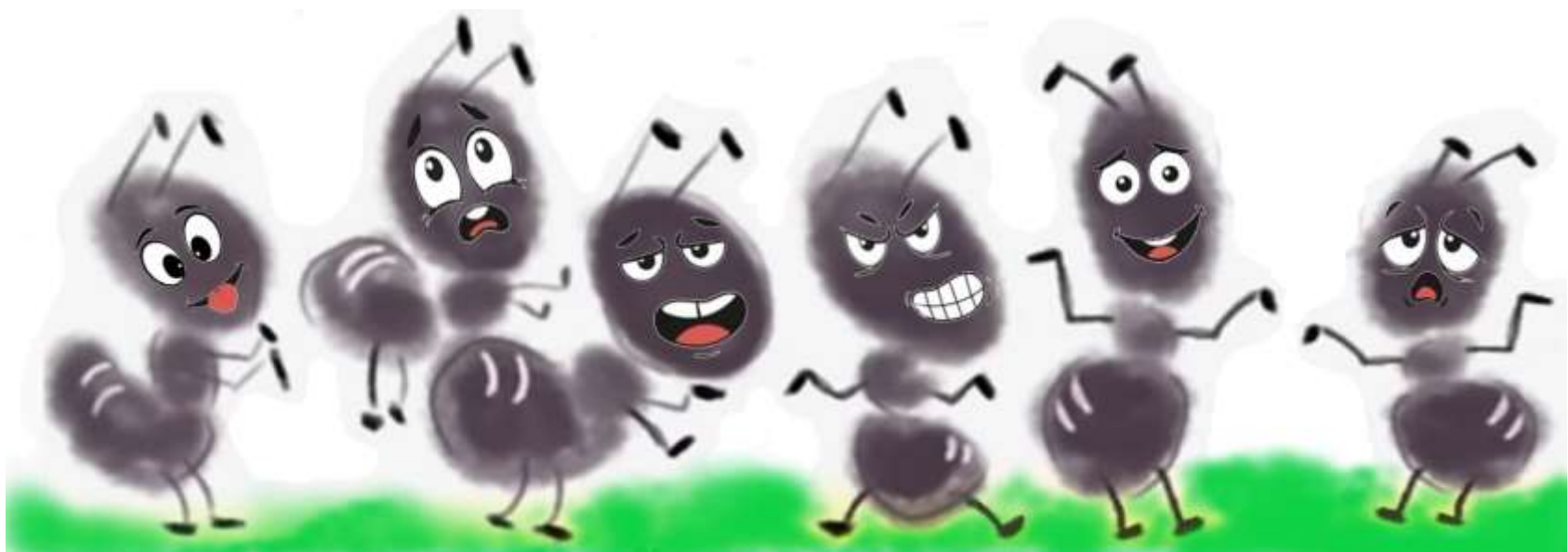


ぼくは、はたらかない
はたらきアリなんだ

(ぼくは はたらくために 生まれてきたの?)



ぼくが はたらかないのは、
はたらくより、かんがえることが すきだからなんだ。
だから、たのしく はたらくことを かんがえるんだ。

いっしょうけんめい はたらかない。

がんばらないことも だいじなんだよ。



きみは

ぼくのかんがえを どうおもうのかなあ…



おにいちゃんは、
どうして はたらかないの？



なんで、はたらかないか？ だって、
それを いっしょに かんがえよう。





おにいちゃんは
どうして はたらかないの？



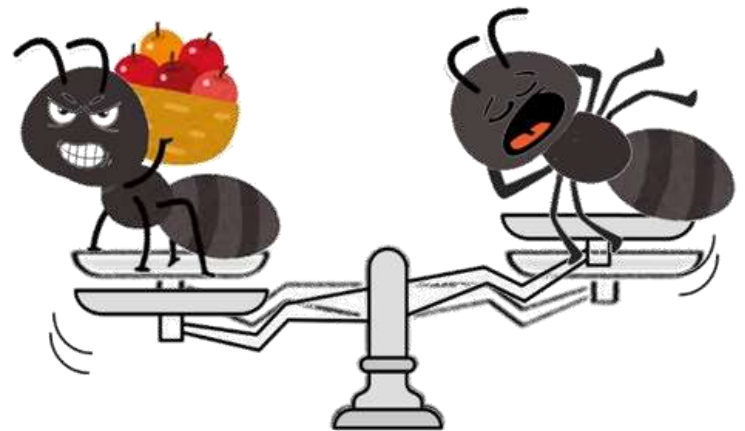
それは、はたらくことより かんがえるのが すきだからなんだ。
そして、よく かんがえたら、
はたらかないほうが、とくをするんだよ。



ええ～ なんて、
いっしょうけんめいにはたらくと みんなよろこぶし、
みんなから すごいね!と えられるよ。



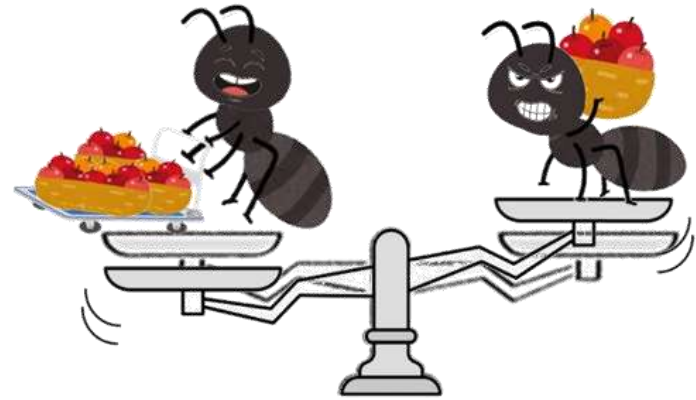
ぼくは、みんなから
「よくはたらいて、りっぱなアリだ。」といわれたいんだ。
「なまけもので、はたらかないアリだ。」って、
おもわれたら いやなもの。





えっ なんて、
「なまけもの…」って、いわれても いいじゃない？

「なまけもの」、「はたらきもの」
どっちが とくをするのか？ よくかんがえてみたら…



そんなの かんがえなくても わかるよ。
よく はたらくアリのほうが、すかれるでしょ。
ぼくは、みんなから すかれないんだ。



みんなから すかれないのなら
たのしく はたらく ことだよ。
そうすれば、みんなから すかれるよ。

それに、たのしく はたらくと
おじぞうさん みたいな やさしいかおに なるんだよ。



おじぞうさん…
そうなのかなあ…



(クイズ)



それじゃ、

「いつもよくはたらくアリ」と「さぼって、はたらかないアリ」どちらが すかれるか？ くらべてみよう。

(はたらくアリ)

(しごとをてつだう)



いつも いっしょけんめい

はたらいて、りっぱなアリだね。



きっと、はたらくことが すきなんだよ。

だから、このしごとを てつだってもらおう…



ありがとう、また はたらくの てつだってね。

つぎは、もっと たくさん てつだって もらおうと…

(てつだわないケース)



えっ、てつだってくれないの

なんだ、いじわるなんだね。

なんだか、きれいになったわ。

きっと、みんなからも きらわれるよ。

(はたらかないアリ)

(しごとをてつだう)



また、さぼっているのね。

すこしは、まじめに はたらいたら…



このしごと ちょっと てつだって ほしいなあ

でも、はたらくのが きらいだから むりかなあ…



えっ、てつだってくれるの、

いつも はたらかないのに、

わたしのために、はたらいてくれたんだ。

ありがとう。ちょっと、すきになったかも…


こんどは、わたしが てつだってあげるね。

(てつだわないケース)





やっぱり、手伝うのは いやなんだ。


しかたがないから、じぶんでするわ。


 それに、
休けいしていたとき こんなことも あったよ。

(はたらくアリ)


 きょうは、休けい しないで がんばろう。
でも、つかれたなあ…
ちょっとだけ 目をとじて やすもうっと…


 あれ、ねているんじゃないの…。
いつも、いっしょけんめい
はたらいていると おもってたけど、
いねむり することも あるんだ。


 いがいと、こんなことがおこるんだよ。
どっちが とくか、よく かんがえてみたら…

 いつも はたらかないで、
たまに、はたらくと かんしゃされるんだね。

(はたらかないアリ)

 いま、休けい しているんだ。
もう すこし やすんでから はたらくよ…

 あれ、めずらしく はたらいているよ。
さぼってばかり だと おもっていたけど、
ほんとうは、がんばっているんだ…

 なんて、
おもわれることも あるんじゃないの？





ぼくが はたらかないのは、
たのしく はたらきたい ってことなんだよ。

はたらいて ばかりだと つまんないでしょ。
たのしく はたらいて、たのしく 生きることなんだよ。



どうすれば、
たのしく 生きることが できるの？



それは、
いろいろなアリに 会ったり、しらないところに行ったり、
あっそうだ、すきなアリが できたら すごく たのしいよ。



はたらいて ばかりだと、
すきなことをする じかんが ないでしょ？
だから、てきとうに はたらけば いいんだよ。



わかった。
いっしょうけんめい じゃなくて、
さぼって、たのしく はたらくんだね。



(はたらく)

(はたらかない)



はたらくのは、べんきょうと おなじで、
どれぐらいやったのか、だれにも わからないから…
はたらく じかんは、じぶんで きめれば いいんだよ。

(クイズ)



はたらくのも べんきょうと おなじ… だから、なつやすみのしゅくだいで、はたらくことを かんがえてみよう。
なつ休みが 10日。そして、しゅくだいのドリルが 10ページ あったとして、
「よくはたらくアリ」、「はたらかないアリ」、「ふつうのアリ」をくらべてみよう。

(はたらくアリ)

(よくはたらくアリ)

できるだけ
はやく おわらそうっと、
がんばって
5日でおわらすんだ。

(ふつうのアリ)

1日に、
1ページずつ やれば
ちょうど
10日でおわるね。

(はたらかないアリ)

(はたらかないアリ)

10日かあ…、
とりあえず 5日あそんで、
のこりの5日で、
がんばってやろうっと…。



ぼくは、「よくはたらくアリ」かもしれないよ。
だって、できるだけ はやく おわらしたいもの。
はやく おわらしたら あとが らくに なるじゃない…
おにいちゃんは、どうなの？



ほくのばあいは、
なつやすみが おわってから しゅくだいを はじめるけどね、…
でも、ほんとうは しゅくだい なんかしたくないけどね。





そんな ある日 先生アリが しゅくだいのようすを 見にきたときがあったんだ。

(はたらくアリ)

(よくはたらくアリ)

しゅくだいが おわったんだ。
それじゃ、ほかのアリにも
おしえて あげてね。

(ふつうのアリ)

しゅくだいは、
けいかくを たてて
やっているんだね。

(はたらかないアリ)

(はたらかないアリ)

がんばっているね。
わからないところ…、
おしえてあげるよ。



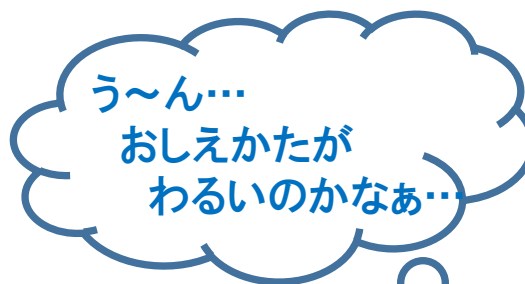
ぼくの ばあいは、どうか？ だって…
そのときは、
先生 もっと わかりやすく おしえてよ。
しゅくだいが できないのは、
先生の おしえかたが、わるいからだよ。 …っと いうんだよ。



なるほど、
先生の おしえかたが わるいのせいに するんだね。



そうすれば、先生も どうしたら、わかるように おしえられるか？ かんがえるでしょ…
それから おしえてもらったほうが とくをするんだよ。





そして、たのしくはたらく。ってことは、ムダな努力をしないってことなんだよ。



えっ、努力すれば

いいことがあるんじゃないの？

だから、みんな努力するでしょ。



努力するのは、

そのみかえりをもとめるためなんだ。

そして、なにもえられないときは、人をうらんだりするんだよ。

だから努力は、

たのしい努力をしないとダメなんだよ。



たのしい努力って、よくわからないよ。

どんな努力をすればいいの？



たのしい努力は、

努力してもできないことは、かんがえないことだね。



たとえば、

大阪から北海道に行きたい。

そうおもったとするでしょ…



(努力してもできない)

あるいて行こうとかんがえる。

これが、ムダな努力だね。

(たのしい努力)

ひこうきにのることを

かんがえる。



わかったわできないことは

かんがえないことなんだね。

プロ野球やオリンピックに てるために
努力するのは、「ムダな努力」なの？

たのしい努力って、
がんばって することじゃ ないんだよ。

(たとえば、)
がんばって ゲームをしている。
がんばって べんきょう(はたらく)している。
どっちが、努力していると おもう？



ゲームをするのは 努力じゃないでしょ…
でも、べんきょうするのは 努力でしょ？

(それじゃ、)
くろうして くるしんで ゲームをしている。
たのしく べんきょう(はたらく)している。
どっちが、努力していると おもう？



たのしく べんきょうしたら、
努力してるって、かんじが しないでしょ…

「くろうする努力」と「たのしい努力」
どうせするなら、
「たのしい努力」をする ほうがいいでしょ？

わかった。
努力は、たのしく するんだね。

(クイズ)

プロ野球や オリンピックの選手になるのは、「ムダな努力」か？ かんがえてみよう。

(しんちょうが ひくいけど、オリンピックに いけるかなあ…)



努力とは、「じかんをかけて なにかに とりくむこと」なんだ。

「ムダな努力」と「やくにたつ努力」を せつめいすると、

しんちょうを たかくする

体力をつける

ムダな努力

やくにたつ努力

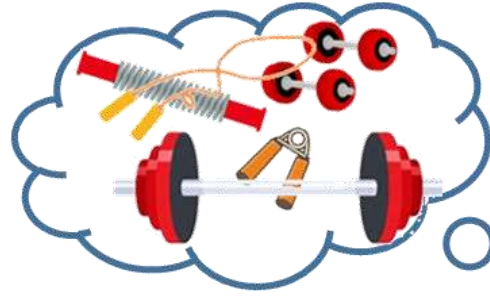


しんちょうは、たかくすることが
できないから ムダな努力なんだね。

れんしゅうして うまくなる

もっと…
れんしゅう しなければ…

たのしく
れんしゅうして うまくなる



たのしく れんしゅうすると、
さらに、うまくなるんだね。

努力しているとは、
おもわない

つらいなあ～





努力が、くるしい
 そう おもっているようでは、
 たのしく努力 できないよ。

だから、
 努力することも
 「たのしい」 っと おもわないとね。



ゆめで
 できたらなあ～

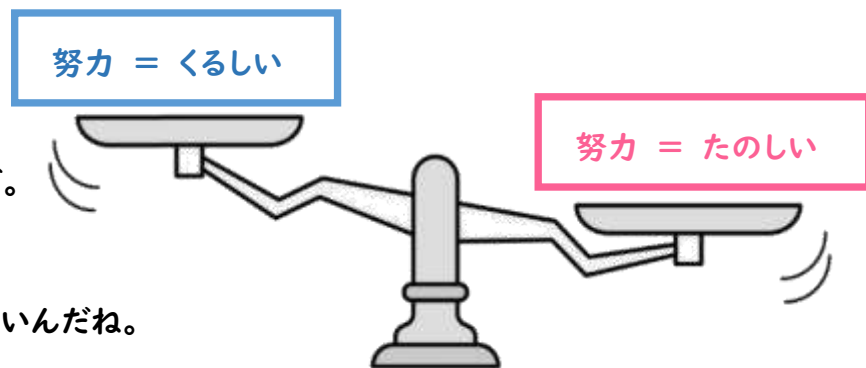


たのしく れんしゅうすれば、努力してると おもわないでしょ。
 それじゃ、

ねながら 努力できないかなあ…
 ゆめで べんきょう できたら らくなんだけど…



プロ野球、オリンピック選手に になりたいなら、
 たのしく 努力することが だいじなんだよ。
 それに、たのしい努力は きっと むくわれると おもうんだ。



たのしい努力は むくわれて、ムダな努力は むくわれないんだね。
 なんだか、ムダな努力を してしまいそうだよ。



それじゃ、
「ムダな努力」について、ことわざで せつめいしよう。

『糠に釘 (ぬかにくぎ)』

やわらかい ぬかに
くぎを うつように、
なんのききめも
手ごたえもない ことのたとえ。



『馬の耳に念仏 (うまのみみにねんぶつ)』

人のいけんや ちゅうこくに
耳をかそうとせず、
すこしも こうかがない
ことのたとえ。



『暖簾に腕押し (のれんにうでおし)』

江戸じだいからのことわざで、
なんのはりあいも
手ごたえもない ことのたとえ。



『焼け石に水 (やけいしにみず)』

わずかばかりの努力や
えんじよでは、
こうかが ほとんど
きたいできない ことのたとえ。



わかったわ
「ムダな努力」をしないで、
たのしく はたらくことを かんがえてみるよ。



たのしく はたらくのは わかったけど、 はたらきアリは はたらくために 生まれてきたんでしょ。
 だったら、 はたらきすぎても こまらないでしょ… いっしょうけんめいにはたらくと どうなるの？

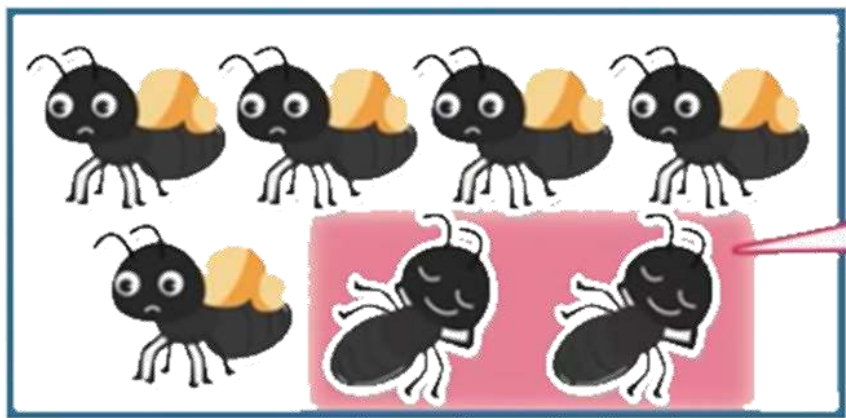


バカだなあ よく はたらくアリは、 はやく死んで しまうんだよ。
 たくさん はたらくと つかれるでしょ。 そして、 つかれたら きゅうけいするんだよ。

それに、 はたらきアリだからって、 みんな いっしょうけんめいにはたらいて ないんだよ。
 10ぴきのアリがいれば、 3ぴきは はたらいてないんだよ。 そして、 よくはたらくアリは 1ぴき ぐらいかなあ…。



そして、
7ひきと3びきのグループに わかれたとしても
はたらかないアリが でてくるんだよ。



ぼくは、はたらかないで、
どうしたら、「ムダな努力」をしないで、
たのしく はたらくことが できいるのか？
それを かんがえるのが すきなんだ。

だから、
ぼくは、「はたらかないアリ」なんだ。

はたらかないアリ



えっ、そうなの
みんな いっしょうけんめい
はたらいていると、おもっていたよ。
でも、どうして はたらかないアリが でてくるの？

それは、
つかれたら こうたいして はたらくため なんだよ。

わかったわ
いっしょうけんめいに はたらかないで、
てきとうに さぼって、
たのしく はたらくんだね。



はたらきたくないアリは、
はたらかなくても だいじょうぶ！

それより、

ムダなことをしないで、 たのしく はたらくようにしよう。



ほくは、 てきとうに はたらいて、
そして、 すきなように たのしく 生きるんだ。

おしまい

